

申込み時の小論文について

(別紙1)

ファーストレベル	セカンドレベル
<p>課題 ファーストレベルを受講する動機を管理的な視点で述べてください。</p>	<p>課題 部署の責任者という管理的な視点で、自部署における看護サービスの提供について、課題となる事実と状況を地域包括ケアシステムの視点を加えて述べてください。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマは「受講動機」である。 2 表紙は不要である。 3 小論文上部に施設名・氏名を記載する。 4 A4 用紙縦長・横書き 1 枚。 5 パソコンソフト“ワード”を使用する。 フォント:10.5 ポイント、MS P 明朝体。 6 本文は施設名と氏名を記載後 1 行あけて記載する。 7 本文は 200 字程度。 8 提出された小論文は返却しません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマは各自で設定する。 2 表紙は不要である。 3 小論文上部に施設名・氏名を記載する。 4 A4 用紙縦長・横書き 1 枚。 5 パソコンソフト“ワード”を使用する。 フォント:10.5 ポイント、MS P 明朝体。 6 本文は施設名と氏名を記載後 1 行あけて記載する。 7 本文は 1,000～1,200 字以内。(末尾に文字数を記載する) 8 提出された小論文は返却しません。

小論文の評価基準について

ファーストレベル		セカンドレベル	
項目	評価の視点	項目	評価の視点
受講意欲の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・受講意欲がうかがえる ・管理的な視点があがる 	I 内容・看護管理者の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題(テーマ)に応じた内容が盛り込まれている ・プロセスが記載されている ・看護管理者としての哲学・姿勢・信条等がうかがえる ・今後の看護管理活動について方向性が明確である ・自身の看護管理上の課題が明確である
		II 概念化能力	<ul style="list-style-type: none"> ・事実や経験が概念化されている ・専門用語の定義や概念の表現が適切である ・洞察力に基づく先見性、論理的思考力、問題解決力、応用力などが読み取れる
		III 論述能力	<ul style="list-style-type: none"> ・文章が明確でわかりやすい ・論文の構成が論理的である ・日本語表現が適切である ・字数制限が守られている

<p>【ファースト・セカンドレベル記載例】</p> <p>課題テーマ「 _____ 」</p> <p style="text-align: right;">施設名 氏名</p> <p>1 行あけて本文(5 行目から本文)</p> <p style="text-align: right;">末尾に文字数</p>

* 評価基準に基づき評価し、60 点以上を合格とする